

運命の出会いは神様の前で

神社は婚活の聖地

お参りや、御朱印集め、あるいは人気アーメの聖地巡礼など神社には様々な目的で人々が集つ。そして最近では、婚活の場としても人気を集めている。運命の出会いは神様が導いてくれる?

2022年、「クリスマスイブ」の日。縁結びでも知られる神田明神（東京・千代田）で、婚活支援イベント「明神縁結び会」が開かれた。参加したのは29～46歳の男女23人だ。

結婚披露宴会場などで使われる「明神会館」には、ロイヤルブルーのじゅうたんに白の円卓。披露宴に参加しているような男性になつたのか、席に着いた男性は「次にここに来るときは自分が主役として」と意気込みを話す。周囲を和ませた。神社で開かれる婚活イベ

ントとあって、昇殿参

拜や神職からの講話とい

ったプログラムも。参加

者は神社や日本の伝統文

化に関心がある人が多い

といい、会では伊勢神宮へ参拝に行ったときの思

い出などで話が弾んでい

た席もあった。

4時間に及ぶプログラムを経て、過去最多となる14組のマッチングが成立した。ひとり3人までマッチング希望者を書くことができるため複数人

とマッチングした人もいる。参加した女性（34）は「クリスマスイブに神田明神ですてきな縁に恵まれてうれしい」と顔をほころばせた。

「明神縁結び会」は17年に始まり年3回のペースで開催している。これ

まで100組以上のマッチングが成立した。イベントを主催する結婚相談所グライダルパートナーズ（東京・中央）代表の

中島賢太郎さんは「神社という神聖な場所柄か、服装や立ち居振る舞などが比較的きちんとしている。結婚に向けて真剣に活動する意欲のある人が目立つ」と話す。

婚活の場となつている神社は全国に点在する。星「牽牛星」と「織女星」がまつられている星神社（名古屋市）には、同市内

内のブライダル企業、シートル・マリアージュが運営する結婚相談所がある。

同市在住の男性会社員（30）は、22年12月に入会した。兄の結婚式で訪れた沖縄県の神社で「神

ユ取締役の木山空子さんじていく。シニア向けのマッチングアプリ隆盛

は「面白目な出会いがある」と期待して活動する人が多い」と印象を語る。

同社では会員一人ひとりに専任スタッフ「婚活パートナー」をつける。お

見合いは事前に相手のプロフィルは見せず、スタッフが相性がいいと感じた異性同士を引き合わせているという。

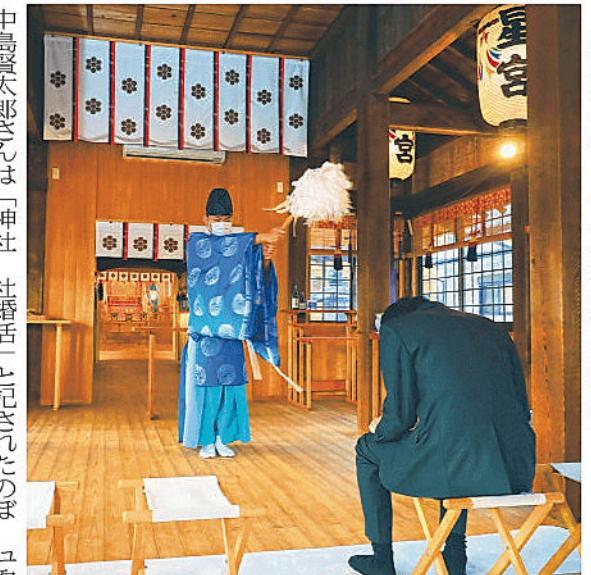
スタッフは「告白するのはまだ早いか」「LINEの返事がすぐに返ってこなくて不安」「目が合って彼女がうつむく。恥ずかしがっているのか」といった、恋愛に慣れていない会員の相談に電話やメールで丁寧に応

結婚相談所に入会し、良縁祈願の祈祷を受ける男性。会員には専任の「婚活パートナー」がつき、結婚までサポートする（名古屋市の星神社）



良縁成就を願つて昇殿参拝する参加者（写真上）。男性が順番に席を移り、自己紹介していく（同中）。神明神の祭神は縁結びの神様の大黒様（22年12月）
（銀治美佑）

神田明神では100組以上の実績



じていく。シニア向けのマッチングアプリ隆盛は「面白目な出会いがある」と期待して活動する人が多い」と印象を語る。

同社では会員一人ひとりに専任スタッフ「婚活パートナー」をつける。お

見合いは事前に相手のプロフィルは見せず、スタッフが相性がいいと感じた異性同士を引き合わせているという。

スタッフは「告白するのはまだ早いか」「LINEの返事がすぐに返ってこなくて不安」「目が合って彼女がうつむく。恥ずかしがっているのか」といった、恋愛に慣れていない会員の相談に電話やメールで丁寧に応

じていく。シニア向けのマッチングアプリ隆盛は「面白目な出会いがある」と期待して活動する人が多い」と印象を語る。

同社では会員一人ひとりに専任スタッフ「婚活パートナー」をつける。お

見合いは事前に相手のプロフィルは見せず、スタッフが相性がいいと感じた異性同士を引き合わせているという。

スタッフは「告白のはまだ早いか」「LINEの返事がすぐに返ってこなくて不安」「目が合って彼女がうつむく。恥ずかしがっているのか」といった、恋愛に慣れていない会員の相談に電話やメールで丁寧に応

じていく。シニア向けのマッチングアプリ隆盛は「面白目な出会いがある」と期待して活動する人が多い」と印象を語る。

同社では会員一人ひとりに専任スタッフ「婚活パートナー」をつける。お

見合いは事前に相手のプロフィルは見せず、スタッフが